似顔絵による単純接触効果

○八木善彦

(立正大学心理学部)

キーワード：単純接触効果，イメージ，好意度

The mere exposure effect with portraits

Yoshihiko YAGI

(Faculty of Psychology, Ritssho University)

Key Words: mere exposure effect, image, affect

目 的

単純接触効果とは、繰り返し同一の対象に接触することで、その対象に対する好意度評定値が増加する現象を意味する (Zajonc, 1968)。近年この現象は、対象の物理的特徴というよりはむしろ、脳内で表現されたイメージに基づいて生じる可能性が指摘されている (Yagi et al., 2009)。そこで本研究では、顔写真の特徴を強調した似顔絵を繰り返し接触させることにより、同一人物の顔写真に対する好意度評定値の増加が見られるか否かを検討した。

方 法

刺激：日暮 (1994) より、政治家、芸能人、スポーツ選手の似顔絵、16枚を選定した。さらに、似顔絵の人物と対応した顔写真16枚を加え、合計32枚の画像を刺激として用いた。

参加者：刺激人物を知らない女子大学生31名が実験に参加した。

装置：実験はWindows7が動作するノートPC (ASUS製 UX31E) を用いて行われた。

予備調査：顔写真については、事前に好意度評定値が調査され、評定平均が等しくなるよう、8種類ずつ二つのセットに振り分けられた。また、対応する人物の似顔絵についても同様に二つのセットに分割された。

手続き：実験は、接触段階と好意度評定段階の2段階から構成された。接触段階において参加者は、一画面に一枚、人物の画像を提示された。1試行における刺激の提示系列は、注視点 (500ms)、刺激画面 (500ms)、空白画面 (1.5ms) であった。刺激画面では、16名の参加者には人物の顔写真が提示され、残りの15名の参加者には人物の似顔絵が提示された。参加者の課題は、提示された刺激をただ集中して観察することであった。刺激セットのうち、一方のセット (8種類) の顔写真または似顔絵がランダムな順序で8回反復提示された。続く好意度評定段階において、参加者は、一画面に一枚顔写真を提示された。参加者の課題は、提示された顔写真に対する好意度を1. 全く好ましくない～5. 非常に好ましい、の5件法で評定することであった。提示された顔写真は、接触段階で提示された人物と同一の顔写真 (8枚)、または接触段階において初めて提示される人物の顔写真 (8枚) の計16枚であった。

デザイン：本研究は、接触の有無と刺激の種類を要因とする2要因混合計画であった。すなわち、接触段階で顔写真を提示され、好意度評定段階で顔写真を評価する写真-写真条件と接触段階では似顔絵を提示され、好意度評定段階で顔写真を評価する似顔絵-写真条件のそれぞれにおいて、単純接触効果が測定された。

結 果

各条件における好意度評定値をFig. 1に示す。2要因混合分散分析を行った結果、有意な効果は認められなかった。た

だし、刺激の種類条件ごとに t 検定を実施したところ、写真-写真条件においては接触無し刺激 (接触回数0回) に比べ、接触有り刺激 (接触回数8回) の好意度評定値が高くなることが明らかにされ ($t(15)=2.2, p<.05$)、単純接触効果の生起が確認された。しかしながら、似顔絵-写真条件においては、そうした傾向は全く認められなかった。

考 察

本研究では、似顔絵に繰り返し接触した場合にも、同一人物に対する好意度評定値は増加しない可能性が示された。この傾向は、似顔絵と写真の類似度評定値が十分に高い (平均類似度評定値が5件法において3点以上の) 刺激のみを用いて再分析した場合にも変化しなかった。観察者の主観的印象としての類似度、あるいは「同一人物である」という印象と、単純接触効果の生起に必要な条件は異なる可能性が示された。

Fig. Mean Affective Ratings as a function of Frequency of Exposure and Stimulus Type. “Pic” and “Prot” represents pictures and portraits respectively.

引用文献

- 日暮修一 (1994). ビッグな顔-「ビッグコミック」の表紙で綴る25年. 小学館.
- Yagi, Y., Ikoma, S., & Kikuchi, T. (2009). Attentional modulation of the mere exposure effect. *JEP:LMC*, **35**, 1403-1410.

Yoshihiko YAGI